

## カーボンニュートラルの実現に向けた再造林の拡大について

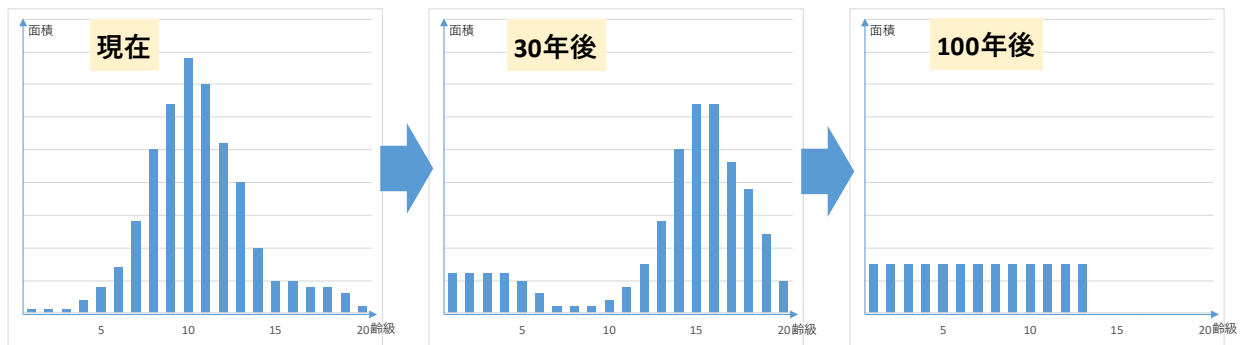
令和4年5月25日  
農林水産部

## 1 基本方針

- スギ人工林資源が伐期を迎えており、これを循環利用しながら将来の資源を造成し、平準化していく。
- 林道から近いなど適地においては、伐採と植栽を一体的に行う低コスト造林技術により再造林を推進していく。(適地以外は天然更新)

R3実績:420ha(31%) → R4目標:556ha(41%) → R7目標:750ha(50%) → 将来:1,500ha(97%)

## &lt; 齢級構成の推移のイメージ &gt;



## 2 新たな再造林対策

## (1) 林業経営体への造林地の集積

- ・ 林業経営体の造林マイスターが再造林を働きかけ
- ・ 林業経営体が、森林所有者に代わり再造林とその後の保育管理を実施

## (2) 低コスト・省力造林技術の開発・普及

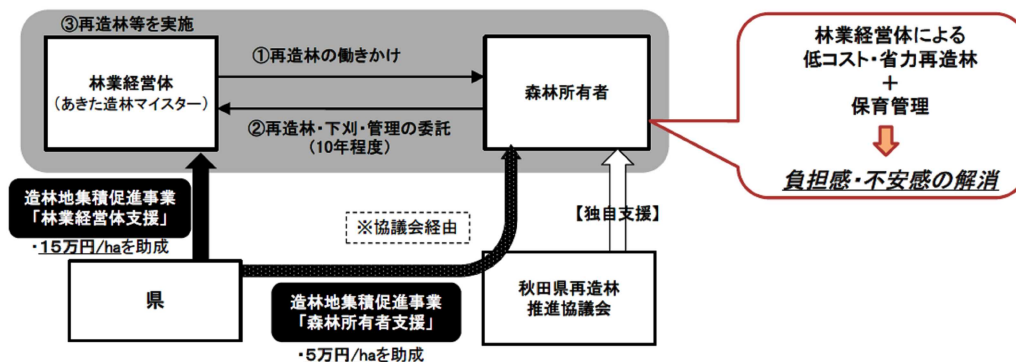
- ・ 県有林の実践フィールドを活用した低コスト・省力造林技術の研修

## (3) 苗木の生産拡大と優良な苗木の品種開発

- ・ エリートツリー（スギ・カラマツ）等採種園の整備による種子の増産

## (4) 業界団体と一体となった取組の推進

- ・ 秋田県再造林推進協議会と連携し機運を醸成  
(フォーラムや出前講座、パンフレットの作成・配布等)



## 3 市町村への依頼事項

- 市町村有林における再造林をお願いします。  
※ R4再造林実施予定市町村：5市町66ha（湯沢市、藤里町、秋田市、由利本荘市、五城目町）
- 森林所有者の負担軽減を図るため、再造林や保育への市町村独自の支援について、助成内容の拡充や新規の取組をお願いします。  
※ 再造林への支援15市町村（うち12市町村が下刈にも支援）